

南海トラフ巨大地震の発生を想定した 「地震災害時初動対応訓練」を実施しました ～近畿地方整備局～

近畿地方整備局では、今年も「防災週間」にあわせて、南海トラフ巨大地震の発生を想定し、9月3日に全職員が訓練を実施しました

■実施日時

○平成26年9月3日（水）7時00分～16時30分

■想定

- 想定災害：9月3日（水）7時00分に紀伊半島沖でM9.1の地震が発生
- 地震規模：三重県中部、三重県南部、兵庫県淡路島、和歌山県北部、和歌山県南部で震度7、大阪合同庁舎1号館（大阪府中央区）では震度6弱
- 津波警報：大津波警報（和歌山県沿岸、淡路島南部、大阪府沿岸、兵庫県沿岸）
※地震発生から6時間後に解除
- 参集条件：公共交通機関が発災時より運行停止。2時間点検等により運行再開（自転車使用可）

■訓練概要

- ①非常参集・安否確認等訓練
- ②災害対策本部会議の運用訓練
 - ・本部長を中心に、早期・適時に災害対策活動を実行するために運用を実施（写真2）
- ③被災状況調査・情報伝達訓練
 - ・地震や津波による被害を調査するため、防災ヘリコプターを緊急発進し（写真1）、紀伊半島等を運航し、ヘリからの被災状況の映像を伝送
 - ・津波の被害が想定される紀南エリアの高台から、衛星通信車を用いて被害状況を報告
 - ・各事務所の直轄管理施設を中心に調査を行い、災害対策本部に報告し、応急対応を行う（TV会議の活用）（写真3）

■訓練状況



防災ヘリコプター(きんき号)
(写真1)



災害対策本部会議
(写真2)



被災事務所からTV会議で報告
(写真3)